

第45回 横浜経営学会講演会

なぜ今、石橋湛山か ——不世出のジャーナリスト、政治家は いかに学び、いかに行動したか——

石橋湛山、ご存じですか。混迷する政治、展望を欠く日本経済にあって、政界では再評価の声が高まり、メディアでも盛んに取り上げられています。戦前はジャーナリストとして「小日本主義」を主張し、戦後は政治家（元首相）として活躍した湛山は、キーワードでいえば「勇気」「信念」「寛容」「独立自尊」の人。そんな湛山が若き日、いかに学び、行動したか。湛山の流れを汲む講師が生き生きと語ります。

日時：2025年10月22日(水)13:00~14:30

会場：経営学部講義棟2号館(N3-3)営109教室

講師：浅野 純次（あさのじゅんじ）氏（石橋湛山記念財団評議員、富丘経済研究会会長、東洋経済新報社元社長）



講師プロフィール

1958年浦和高校卒、62年横浜国立大学経済学部卒。往復3時間半かけて浦和と大学の間を4年間往復し続けた。同年、東洋経済新報社（石橋湛山は第4代主幹）に入社、産業や企業の取材、執筆を重ね、『会社四季報』、『週刊東洋経済』各編集長、データバンク部長、論説委員などを経て、社長（1995~2001）、会長（2001~04）。日本雑誌協会、経済倶楽部、出版企業年金基金などの理事長を歴任。現在、石橋湛山記念財団評議員、富丘経済研究会会長。『週刊東洋経済』『JA新聞』に書評、『財界』にコラム「諸事雑感」を連載している。

ご参加のための申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

問合せ先：経営学部研究推進室<045-339-3708>

共催：横浜国立大学経営学部、横浜国立大学校友会